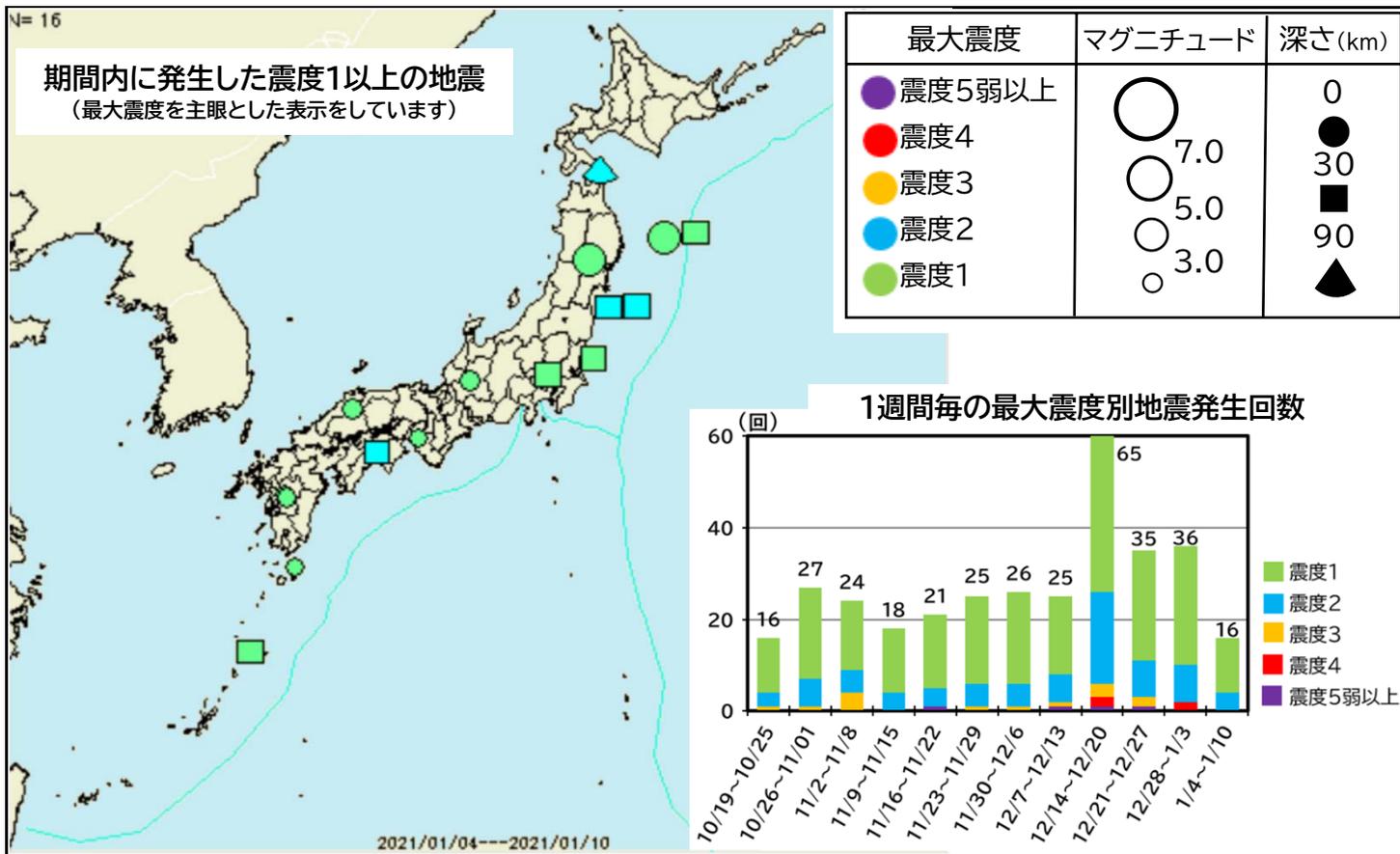


この期間の最大震度は2

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が16回発生。最大震度は2 ■
- ・この期間は、穏やかな地震活動で特記することはありません。

トピックス

- 阪神・淡路大震災から26年 余震の発生状況 ■ (向こう一週間の日に発生した過去の被害地震)

- ・17日は1995年1月17日 午前5時46分に発生した兵庫県南部地震(最大震度7:阪神・淡路大震災)から26年が経過します。初めて震度7が適用された地震です。
- ・大規模災害が発生した場合における公助の限界が指摘され、災害発生時には自分の身は自分で守りながら近所の人と助け合う「自助・共助」という考え方が市民権を得るきっかけとなった災害であると言えるでしょう。
- ・図1は26年間の余震(破線内)の発生状況です。
- ・図2は図1の破線内で1990年以降に発生したM2以上の地震の年毎の発生回数で、兵庫県南部地震発生以前は1年に数回程度でした。
- ・兵庫県南部地震の余震で多くなった地震は、最近では発生前と比較してやや多い程度で推移しています(図2)。
- ・2013年に多くなっているのは、2013年4月13日の地震(M6.3)の影響です。
- ・事前の備えが最大の防災です。年の初めに、自分で出来る備えをもう一度点検しては如何でしょうか。

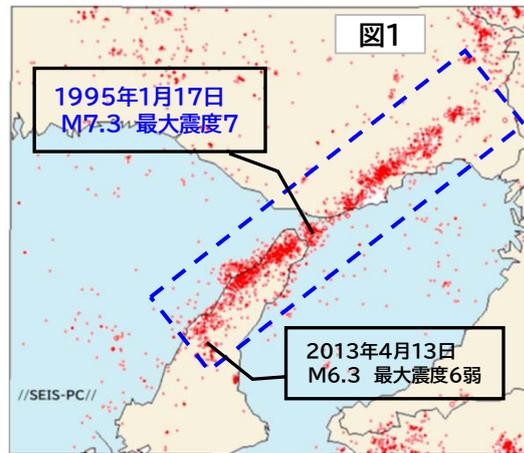


図1:震央分布図:1995年1月1日~2020年12月31日 深さ0~20km, M≧2.0

図2:図1の破線内の年毎の地震回数表:1990年~2020年 深さ0~20km, M≧2.0